

進歩的各社「お年寄り見守ります」

携帯電話各社が、お年寄りの「見守り」サービスに力を入れている。歩数計などに携帯電話の通信機能を付けて、暮らしありを家族らに自動的にメールで知らせることで、機械をいちいち操作しなくても元気かどうかがわかるのが利点という。

「19時10回」
「20時15回」
…」。KDDIが昨年9月に発売した見守り歩数計

「ミルック」
写真。専用充電台を居間などに置けば、その前を人が何回通ったかがセンサーで分かる。

持ち歩けば歩数も、離れて暮らす家族にメールで送信される。若い世代には普及した携帯電話だが、総務省の2010年末の調査では70歳代の保有率は45.7%。KDDIの村井義明・市場開発部長は「機械操作が苦手で、携帯電話に対する反応を

■ 通話もできる歩数計 ■ 動き感知してメール

■ 携帯大手3社の見守りサービス

	端末・サービス名	メールで届く内容	端末価格	月額料金
KDDI	ミルック	歩数、端末の前を通った回数など	約2万1000円	1095円から
ソフトバンクモバイル	みまもりホームセキュリティ	センサーが動きを感じしないといった異常など	約2万3000円	490円から
NTTドコモ	つながりほっとサポート	歩数、携帯電話の開閉回数、電池の残量など	1万円合後半	105円

端末価格や月額料金は2年契約などの条件が付くものがある。つながりほっとサポートの対応端末は「らくらくホン ベーシック3」。

パナソニック

かずひろ
一宏氏(55)

創業家以外では最年少での社長就任。本人は「55歳なので、自分では年少とは思っていない」と笑う。

新社長

「我々は技術者だが、技術者は技術者で、半分は技術者ではない」。自のをこう評する。仮説と検証を重ねる技術者の良さに目が向いていた。何かお客さまの価値を生むか、すりあわせが必要」と技術偏重への反省を口にした。

日指スマート&エコ

入社以来、ネットワークやソフトウェアの研究開発部門を長く歩み、昨年4月にテレビなどAV機器部門のトップに就任。最新鋭工場の休止など立て直しの指揮をとった。物語は柔らかい。会見では

個人識別である 新警備システム

セコムが開発



が動きを感じしない場合も家族らにメールが届く。警備会社の多くのサービスは月数千円だが、料金を円490円からに抑えた。

80歳代を中心とした高齢者向けの携帯電話「らくらくホン」の最新機種同様に貼る通信機能付きセンサーを使う「みまもりホームセキュリティ」を発売。このため、他社も様々な端末を売り込む。ソフトバンクモバイルは1月、窓枠に貼る通信機能付きセンサーを使つ「みまもりホームセキュリティ」を発売。

侵入者情報

だけではなく、一定期間センサ

をメールで知らせる。(長崎潤一郎)

電子機器を持ち歩く。設置した監視カメラとセンサーは、機器を持たない人が地内に入ると不審者として認識する。情報はセコム本部にすぐ送られ、警備部に駆けつけれる。

解除の操作がいらない、新たな機器警備システムを6月中旬に発売すると発表した。従来型と違つて個人を識別できるので、常時稼働が可能になった。在宅時でも不審者の侵入を防ぐ止められる「世界初」のシステムだといふ。

出入りの資格を持つ人は、自分の情報が入った小型のセットが月3万円程度。

「これは半径15mの半円をカバーし、複数個を組みあわせる。門から玄関までの通路など、誰でも入っていいエリアを設定でき、エリアいる限りは不審者とはみなれない。機材はサービス込みのレンタル制で、標準セットが月3万円程度。